学校番号	４０８

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　標準　現代文Ｂ　（第一学習社）						
副教材等	「新演習　現代文 アチーブ　２」（桐原書店）他						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年次に引き続き、近代以降のさまざまな文章を読み、理解する能力を高めましょう。
　またそれぞれの作品の表現や内容を味わうことにより、ものの見方、考え方、感じ方を深めてほしいものです。
・文章の読解だけでなく、伝えることを意識して「書く」「話す」などの能力も養わなくてはなりません。授業では表現の分野についても活動的な取り組みをおこなう予定です。
・社会に巣立つことを意識し、漢字・語彙をはじめとする基礎的な国語の力をつけていきましょう。
　そのために繰り返し練習する課題や小テストなどにもしっかりと取り組んでください。

2　学習の到達目標

・国語の基礎的な力を身につけ、場面に応じて適切に用いることができる。
・論理的な文章については、文章の構成に注意しつつ、各用語も理解した上で、分析的に読み進めることができる。小説などの作品においては、場面を整理し、その展開のなかで、登場人物の行動や心情の変化について読み取り、主題をとらえることができる。
・他人の思いを理解し、同時に、自己の考えをまとめたうえで表現することができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:読む能力	d:書く能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重して其の向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞きとったりして、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降のさまざまなジャンルの文章を的確に読み取り、自分の考えを深めている。	相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	漢字、語句、言葉のきまりや文学史などについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述の点検（ノート、プリント等）	行動の観察（発表等の内容、積極性を評価）	定期テスト 小テスト 記述の確認（ノート、ワークシート） 行動の観察	定期テスト 小テスト 記述の確認（ノート、ワークシート） 行動の観察	定期テスト 小テスト 記述の確認（ノート、ワークシート） 行動の観察

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	自己をみつめる	教材:「ワスレナグサ」 ・自然と人間とのかかわりについて見つめ直すことによって、問題意識を養う	○		○		○	a:文章に提示された問題に関心をもち、考えようとしている。 c:提示された問題を的確にとらえている。 e:内容を正しく理解できている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・課題の提出 ・定期考査
	小説(一)	教材:「ひよこの眼」 ・他者とのかかわり方、自己発見などについて見つめ直す契機とする。	○		○		○	a:現代の短編小説を楽しみ、読解する。 c: 小説の主題に迫り、「他者とのかかわり方」「自己発見」などについて考える。 e: 語り手の視点を意識し、登場人物の心理の変化を読み取る。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・課題の提出 ・定期考査
	言語活動	教材: 情報の探し方 ・目的や課題に応じてさまざまな情報を収集し活用する方法を習得する。		○			○	b: 自ら目的を設定し、図書館・インターネット・インタビューを利用して、必要な情報を収集する。 e: 目的や課題に応じてさまざまな情報を収集し活用する方法を習得する。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・課題の提出
	新しい視点	教材:「思い込みの危険性」 ・「思い込み」について理解し、自身の見方、考え方を客観的に捉える契機とする。	○		○		○	a: 論理的な文章を読解する。 c:具体例と抽象的な記述との関係を理解する。 e:「思い込み」に陥ることの危険性について、自己の体験とも対照しながら考える。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・課題の提出 ・定期考査
	詩を味わう	教材:「食事」「心」「日本海」 ・非日常的な感覚を味わい、想像力や感受性を豊かにする。 ・言葉に対する感覚を磨く。 ・詩にこめられた作者の思いを読み取る	○	○		○	○	a: 現代詩を鑑賞する。 b: 擬音語や比喩表現の効果について理解味わう。 d: 内容・展開を理解し、詩のおもしろさについてまとめる。 e: 詩にこめられた作者の思いを読み取り、自己に引きつけて考える	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・課題の提出 ・定期考査
二学期	小説を読む(三)	教材:「山月記」 ・漢文調の文章を味わう。 ・主人公を襲う運命について考え、自己の生き方に考えを向ける。	○	○	○		○	a:短編小説の持つ緊密な構成を理解し、鑑賞法を習得する。 e: 漢文脈を駆使した独特の表現を理解する。 b,c:主人公の返信にこめられた意味を考え、この小説の主題をまとめ発表する。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・課題の提出 ・定期考査

	生への思索	教材:「経験の教えについて」 ・生きていくうえで経験に学ぶことの難しさと重要性を読み取ることにより、問題意識を養う。	○		○		○	a: 論理的な文章を読解する。 c: 具体例と抽象的な記述との関係を理解する。経験に学ぶことの重要性についてまとめる。 e:経験に学ぶことの重要性を、自己の問題として考える。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・課題の提出 ・定期考査
	言語活動	教材: 意見文の書き方 ・さまざまな情報を収集、活用し、それをすすんで表現する態度を養う。	○		○			a: 意見文の書き方を習得する。 c:自らの問題意識を絞り込んだテーマを設定し、それについての自分の意見をしっかりと述べる。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・課題の提出
	現代と文化	教材: 「文化とは何か」 ・世界の中での日本の立場をふまえながら異文化交流を図るための基本的な考え方を身につける。	○		○		○	a: 論理的な文章を読解する。 c: 具体例と抽象的な記述との関係を理解する。 e:「異文化コミュニケーション」について自分の身に引きつけて考える。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・課題の提出 ・定期考査
三学期	小説を読む(二)	教材: 「卒業」 ・「仕事」や「友情」、「責任」について考える契機とする。	○		○		○	a: まとまった分量のある小説を読解する。 c: 物語の場面における登場人物の心情の変化を読み取る。 e:題名の持つ意味について考える。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・課題の提出 ・定期考査
	言語活動	教材: 研究発表のしかた 研究発表の仕方を習得する	○	○				a:研究発表に取り組む b:整然と落ち着いて発表する。 他人の発表についても主旨を理解し批評できる。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・課題の提出